

26 在宅介護で家族はどういうことをするの？

Q

義母の留守中に義父の様子を見ているように頼まれたものの、介護の知識や経験がないので戸惑いました。短時間でも気を張っている時間が長く感じました。
[30代]



A

サポートする場面はさまざまなので、ご家族内で共有しておくといでしょう。外出時に付き添う、メインで介護する人が不在の時の食事、ケアマネジャー(→13)との連絡・調整なども在宅介護の一部です。



介助の考え方

介護を受ける方ができることはご自身で行い、難しい部分をサポートするのがよいでしょう。介助の場面やサポートの内容は要介護の度合いによってさまざまです。例えば、食事の介助の場合、テーブルと椅子で食事ができるのかベッドで食事をするのかなど、自力で座位を保てる状況かどうかでも、気をつけるポイントも変わってきます。

介助の仕方を教えてもらうには？

ケアマネジャーや地域包括支援センター(→3)へ相談するほか、「介護教室」を開いている市区町村もあります。介助の方法の実演のほか、介護を受ける側の気持ちや認知症への理解を深める講演を開催しています。お住まいの地域でのイベント内容を確認してみましょう。

組合員からのアドバイス!

身体的介護の事前練習体験や、認知症への知識も理解できているとよいと思います。

[60代]



介護を受ける方は赤ちゃんのように扱われることを嫌がります。まずはご本人がやってみて、どうしてもできないときに、そっと手を差し伸べる感じで接することで、介護を受ける方の尊厳も大切にできます。[40代]

